

## 令和7年度 危機管理室 X方針について

### ■ 局区X方針とは

#### (概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

#### (目的)

- ・局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜X方針を修正する。

### ■ 危機管理室 X方針について

#### (1)課題数 全6件

| 課題領域 | Aレベル | Bレベル | Cレベル |
|------|------|------|------|
| 課題数  | 2件   | 2件   | 2件   |
| 政策分野 | 防災   | 防災   | 防災   |

Aレベル……行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル…政策的な変革課題(Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

#### (2)主な課題・取組内容等

##### ・課題B 市職員の防災対応能力の向上(資料 P6)

- 近年、自然災害の激甚化・頻発化により、職員には迅速かつ的確な対応力が求められている。そこで、研修や訓練を実践的かつ体系的なものとするため、アンケートや意見交換で課題を整理し、令和6年10月にプロジェクトチームを設置。令和7年度に防災人材育成方針を策定した。今後は研修・訓練・OJT を体系化し、防災の専門性を高める人材育成に取り組む。
- そのため、令和7年度については、以下の取組を行う。
  - 研修・訓練・OJT(BCP 等)の実践化、体系化
    - ・既存研修・訓練のブラッシュアップ
    - ・新たな取組の本格実施に向けた調整
  - 防災業務に関する専門性の高い職員の育成方法の検討
    - ・ジョブローテーションの検討
    - ・被災地派遣者や防災に関する知識等を有する者のデータベース化 など

### ・課題 C 新たな担い手の育成等による地域防災の向上(資料 P9)

- 近年、自然災害の激甚化・頻発化により、市民一人ひとりの防災に対する「自助」の意識や、地域における「共助」の重要性が高まっている。自治会加入率が低下する中、防災教育を通じて、子どもの頃から“自らの命は自らが守る”という「自助」意識を育み、あわせて“自分も地域の一員である”との認識を深めることで、互いに助け合う「共助」の意識を培い、将来の地域防災の担う人材を育成していく。
  
- そのため、令和7年度については、以下の取組を行う。
  - 小中学生・高校生・大学生と地域が連携する新たな担い手づくりの仕組み検討（具体的には）
    - ・小中学生が地域の防災活動の企画・運営に参画するきっかけづくり
    - ・大学生が考案した小中学生への防災授業の実施 など
  - 学生から保護者に伝わる防災啓発の仕組みづくり（具体的には）
    - ・防災課題を通じて、親子で一緒に防災を考える機会の提供
    - ・保護者も参加できる防災運動会の事例を市内の小中学校に横展開